

施策・主な取組シート

基本方向	(1) 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり		基本政策	4) 生活安全の充実
(1) 施策				
名称	08 防犯体制の充実			
目標	市民の防犯意識を高め、犯罪の未然防止を図ることで、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現をめざします。			
現状と課題	本市の刑法犯認知件数は減少傾向にありますが、犯罪の広域化やＩＴ機器を使用した詐欺など、時代や社会情勢の変化により、今後、増加に転じる可能性があります。そのため、子どもや高齢者などの社会的弱者が犯罪に遭わないよう、市民一人ひとりの防犯意識の向上を図るとともに、地域全体で防犯力を高める必要があります。			
課題解決の方向性	犯罪の起こりにくい安全で安心なまちづくりを実現するため、地区まちづくり協議会や防犯関係団体を中心とした防犯活動の活性化や、警察・防犯関係団体との連携を強化するとともに、街頭啓発活動やホームページ等を通じ、防犯情報の発信に努めます。 また、犯罪に遭わないための環境整備を図ります。			
(2) 主な取組				
No.1	名称	防犯活動の推進		
	担当課	市民活動支援課		
	概要	・ 自主防犯活動の促進を図るため、自主防犯活動団体に対して、防犯ベスト等の防犯活動に必要な物資の支援を行うとともに、新規登録について、ホームページ等により周知を図ります。 ・ 市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図るため、警察・木更津市防犯指導員協議会等の市内防犯関係団体と連携し、防犯啓発活動等を行います。 ・ 青色回転灯防犯パトロール車による昼夜パトロールの回数、エリアの充実を図ります。 ・ 防犯活動に従事する者の知識の向上を図るため、防犯研修会や防犯現地診断等を行うとともに、より効果的な防犯活動が行えるよう、警察・防犯関係団体との連携の強化を図ります。		
No.2	名称	防犯設備の整備		
	担当課	市民活動支援課		
	概要	・ 市の設置基準を満たしたＬＥＤ防犯灯を、町内会・自治会等が新規に設置する際の費用を補助します。 ・ 市内街頭防犯カメラの維持・管理を行うとともに、必要と認められる箇所への防犯カメラの設置を図ります。また、警察からの依頼により、防犯カメラの記録映像の提供を行います。 ・ 近くに交番のない地域において、地域の防犯の核となる防犯ボックスの設置に向けた検討を行います。		
施策目標の実現に関する指標	指標	現状値 (H30)	目標値 (H34)	設定の考え方
	青色回転灯防犯パトロール車によるパトロール日数	629日 (平成29年度)	690日	現状値から約10%増加を目標値とします。
	防犯カメラの設置数 (市民活動支援課管理分)	18台 (平成29年度)	22台	現状値から約20%増加を目標値とします。